



2023年2月2日

各位

会社名 ANAホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 芝田 浩二  
(コード番号 9202 東証プライム)  
問合せ先 グループ総務部長 植野 素明  
(TEL . 03-6735-1001)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年10月31日に公表した2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期連結業績予想を修正することとしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

#### 1. 2023年3月期通期連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)の修正について

|                          | 売上高              | 営業利益          | 経常利益          | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|--------------------------|------------------|---------------|---------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A)                | 百万円<br>1,700,000 | 百万円<br>65,000 | 百万円<br>55,000 | 百万円<br>40,000           | 円 銭<br>85.05   |
| 今回修正予想(B)                | 1,710,000        | 95,000        | 85,000        | 60,000                  | 127.57         |
| 増減額(B-A)                 | 10,000           | 30,000        | 30,000        | 20,000                  | —              |
| 増減率(%)                   | 0.6              | 46.2          | 54.5          | 50.0                    | —              |
| (参考)前期連結実績<br>(2022年3月期) | 1,020,324        | △173,127      | △184,935      | △143,628                | △305.37        |

#### 2. 修正の理由

国際線旅客について、日本の水際対策の緩和によりビジネス需要や訪日需要の回復が進んでいることに加え、全国旅行支援の後押しもあり、国内線旅客も堅調に推移していること等から、売上高は1兆7,100億円(前回発表時から100億円の増加)となる見通しです。費用面では、為替・燃油の市況影響に伴う費用の減少に加え、コストマネジメントの取り組みを継続していること等から、営業利益は950億円(同300億円の増加)、経常利益は850億円(同300億円の増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は600億円(同200億円の増加)となる見通しです。第4四半期については低需要期のため、当初の計画から変更していません。

なお、算出にあたり、米ドル円為替レートは145円、航空燃油費の指標であるドバイ原油の市場価格を1バレルあたり100米ドル、シンガポール・ケロシンを1バレルあたり130米ドルとしています。また、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

以上